

ひまわり日記

No. 2

H28.6.9

船橋夏見特別支援学校

校長 小室 いづみ

～学校という場所は、とてもステキなところです。登校してきた生徒たちの元気な声が校内にひびき、先生方の生徒たちへの声かけが聞こえ、そよぐ風や鳥のさえずりが聞こえてきます。そんなステキな学校の校内の様子や校長として私の考えを、折々にお伝えしたく、この日記を始めます。ご覧いただき、励ましやご意見をいただければ、幸いです。～

6月4日（土）は、体育祭でした。その様子をお伝えします。

朝、生徒たちが張り切って登校しました。そして、保護者の皆さん、地域の皆さん、交流で来てくれた旭中学校の JRC クラブの生徒さん、市立船橋高校と船橋啓明高校の生徒さん、それに秀明大学の学生さんとたくさんの人も集まりました。いつもは広すぎる体育館が、この日ばかりは狭く感じた位です。



開会式では、生徒会長が上手に笑いを誘って皆の気分を盛り上げ、続く応援合戦では、紅組も白組もカッコよくはかま姿の団長が、声を張り上げました。先生方が様々に工夫した種目や用具の中で、生徒たちは自分の着実な練習の成果をみんな発揮してくれました。「みんな本番に強いんですよ!」とはある先生の言葉。ゴールが最後



になってしまった生徒にも熱い声援が体育館中に響き渡り、素晴らしい体育祭でした。午前の部最後は、大玉転がし。保護者の方や交流で来校した中学生、高校生、大学生みんな参加しての競技です。大いに盛り上がりました。これは紅組が勝ち。

午後は全校種目としてエイサーがあり、太鼓グループと踊りグループに分かれて沖縄の海や風、活気を表現しました。全校生徒、職員が一つになっての踊りで、私校長も黒い T シャツと一緒に踊らせてもらいました。そして閉会式、結果は白組優勝、紅組は準優勝と応援賞でした。



体育祭終了後、生徒が下校して職員が全部の片付けを終えた後、職員室で反省会がありました。私が用事でやや遅れて入っていくと、職員一同体育祭の応援歌を大声で歌っていました。ここ1週間毎朝打ち合わせの前にずっと練習していたものです。「一つの行事が終わって、この歌を歌うのは今日が最後なんだな。」今までの練習よりさらに大きな声が聞こえ、ふとそう感じました。

さあ、次の行事へスタートです!

